

テーマ

ガス式ユニット（iCombi Pro / iCombi Classic）を最大20%の水素混合で稼働できるように、ソフトウェアに調整が加えられました。

この新規事項は、ソフトウェア LM100 17.3.32、LM200 8.1.9以降に含まれています。

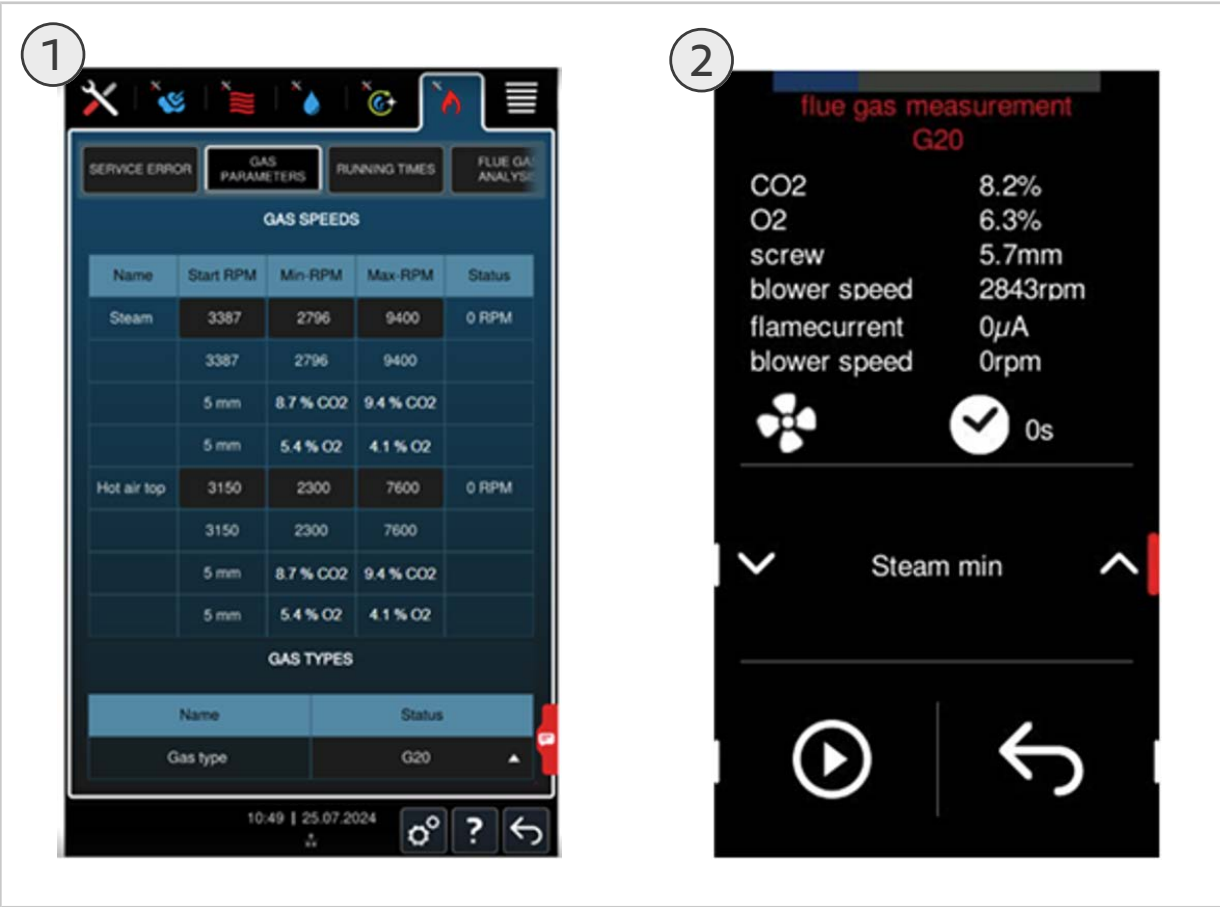
水素を混合する場合は、規定の排ガス分析の一環として排ガス中のO<sub>2</sub>値（酸素含有量）を正確に測定し、規定の基準値に適合していることを確認することが不可欠です。この関連においてはCO<sub>2</sub>値は許容基準とは見なされないため、正確で規格に準拠した排気ガス設定を確実に行うために、O<sub>2</sub>値のみに基づいて設定および点検を行う必要があります。

必要なO<sub>2</sub>は、サービスレベルの「タップ」->「ガス」->「ガスパラメータ」で確認でき、偏差がある場合はガス弁で設定します。

対象となる製品/アクセサリ

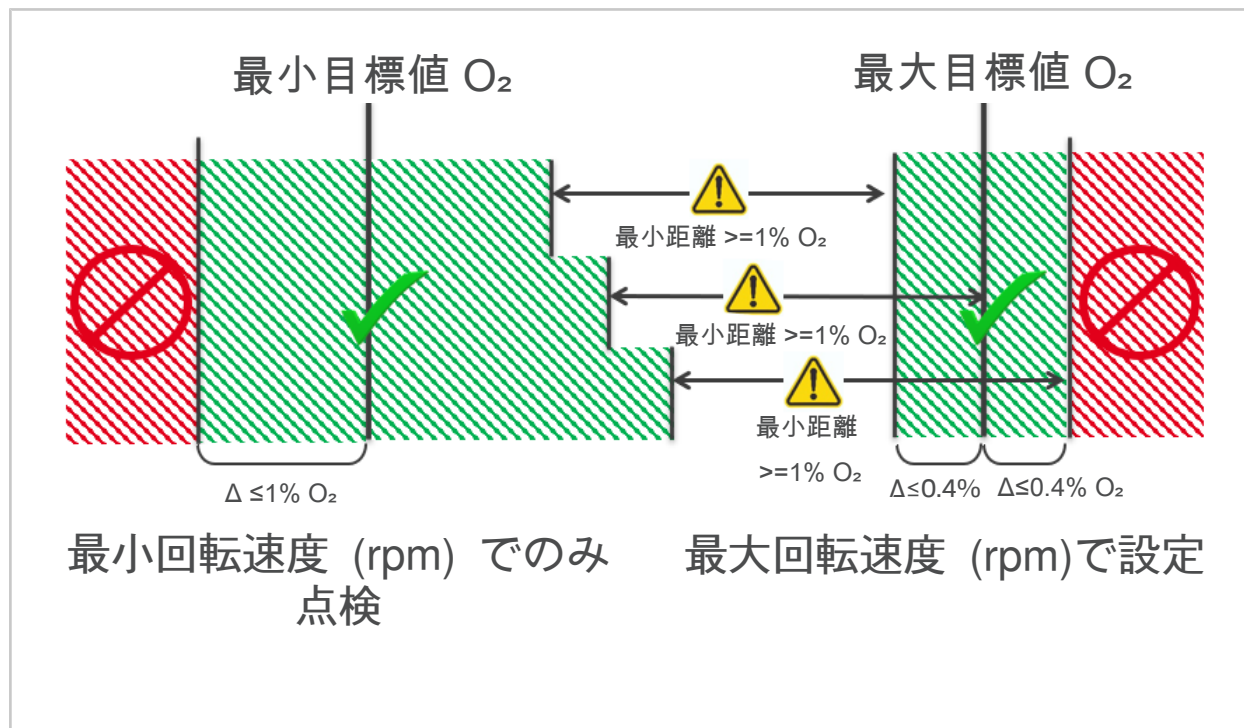
- iCombi Pro / iCombi Classic ガス式ユニット
- 6-1/1
  - 6-2/1
  - 10-1/1
  - 10-2/1
  - 20-1/1
  - 20-2/1

iCombi Pro 1) / iCombi Classic 2) ガスパラメータ



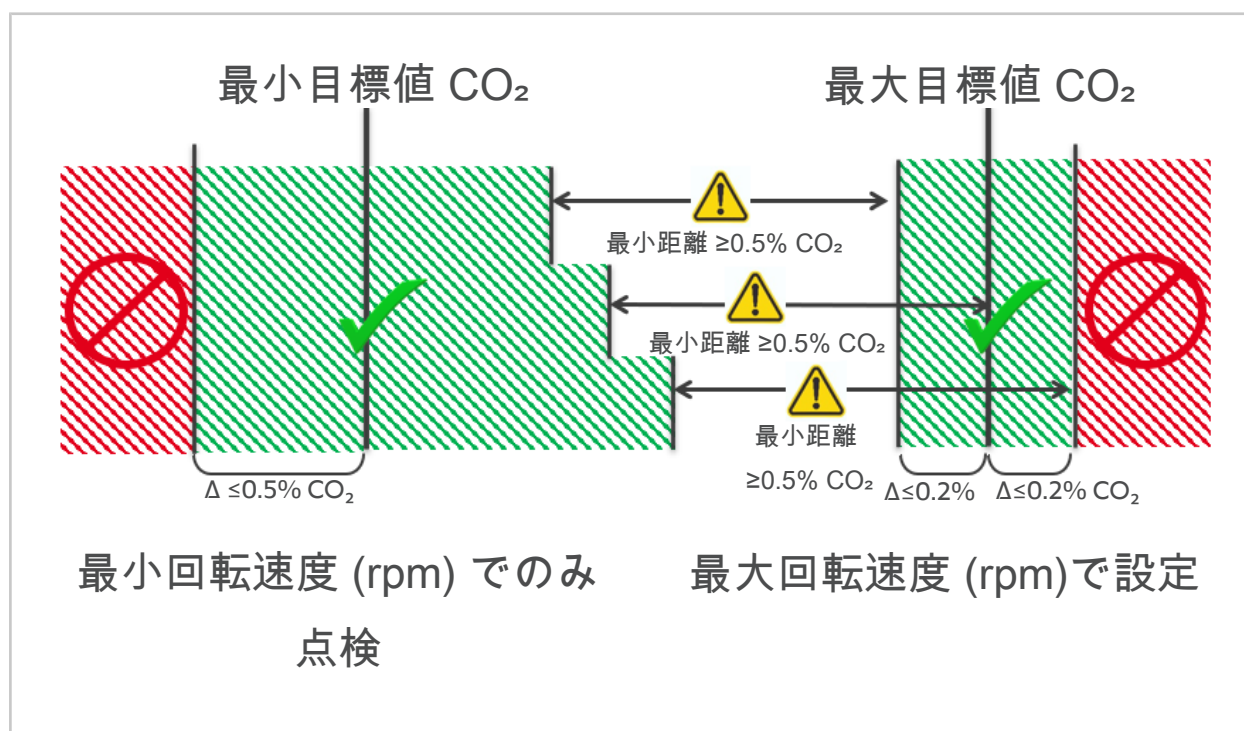
## O<sub>2</sub>の最大および最小目標値

水素混合物を含むガスの場合、このスライド表をO<sub>2</sub>規定値とともに使用することが必須です。その他のガス種類では、この表の使用はオプションとなります。



## CO<sub>2</sub>の最大および最小目標値

このスライド表をCO<sub>2</sub>規定値とともに使用することは、水素混合物を含まないガスに対してのみ許可されます。



### 注記：

さらなる措置は必要ありません。